

第1回 病理部会 会議 議事録

日時：2009年7月12日(日) 9時20分～10時00分

場所：麻布大学 第8303講義室

出席者(順不同)：三好宣彰、野村耕二、三井一鬼、難波裕之、鈴木学、阿野直子、山上哲史
(合計7名)

委任者(順不同)：代田欣二、尾崎清和、賀川由美子、下山由美子(合計4名)

議長および書記：山上哲史(学会役職：理事、評議員、病理部会長)

下記のとおりご報告申し上げます。

1. 報告事項

(1) 病理部会メンバーの紹介

本部会メンバーとして、代田欣二(麻布大,JCVP)、三好宣彰(鹿児島大,JCVP)、尾崎清和(摂南大,JSTP)、野村耕二(マルピー・ライフテック,JCVP)、賀川由美子(ノースラボ,ACVP and JCVP)、三井一鬼(IDEXX,ACVP)、下山由美子(IDEXX,JCVP)、難波裕之(難波動物病理検査ラボ,FCVP)、阿野直子(マルピー・ライフテック)、鈴木学(住化テクノサービス)の10名に快諾いただいた報告があり、部会長よりお礼が述べられた。

(2) 執行部からの要望

部会活動として、執行部からは、学会企画の提案、学会雑誌記事への協力、ならびに学術面でのサポートに関して要請があったと報告された。

2. 審議事項

(1) 学会企画に関して：

症例検討会において、当該症例の病理組織標本を会場にて顕微鏡観察し、解説を行うことが提案、検討された。プロジェクター接続が可能なカメラを装着した顕微鏡のスポンサーからの貸し出しが可能で、症例検討会の時間枠内に収まれば、病理部会メンバーが関与することで実施可能ではとの意見が出された。将来的には、バーチャルスライドを用いた症例検討も可能では、との意見も出された。執行部および学会企画委員会と調整し、実施を検討することが承認された。

(2) 学会雑誌の投稿内容に関して：

病理検査に関するベーシックな技術講座を連載してはどうか、との意見が出された。学会雑誌編集委員会と調整し、掲載可能であれば、数回に渡り連載することが承認された。

(3) 他学会と獣医がん学会の協力による学術面での関与：

来る2010年2月開催の日本獣医内科学アカデミー/日本獣医臨床病理学会において実施される、JCVIM/JVCS合同シンポジウムとして、「犬の組織球系疾患を徹底的に整理する(仮題)」を企画、調整済みであることが報告、承認された。シンポジストとして、東京大学内田和幸先生もお招きし、日本獣医病理学専門家協会(JCVP)とも共同開催とする方向で調整中であることが報告され、承認された。

3. 次回会議 開催予定

日時：2010年1月23日(土)あるいは24日(日) 時間未定

場所：大阪科学技術センター

以上

(文責：山上哲史)